

I

【問1】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

時価の変動により利益を得ることを目的として保有する有価証券は、流動資産に表示される。

【問2】 ① (ア) 正 (イ) 正

【問3】 ② (ア) 正 (イ) 誤

貸借対照表において、新株予約権は株主資本とは区別して記載される。

【問4】 ② (ア) 正 (イ) 誤

株価純資産倍率は、1倍を下回ることもある。

【問5】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

キャッシュ・フロー計算書は、金融商品取引法上の財務諸表に含まれる。

【問6】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

勘定式の貸借対照表では、左側に資金の運用形態が示されている。

【問7】 ④ (ア) 誤 (イ) 誤

商品の販売代金の総額を、売上高という。

売上総利益から販売費及び一般管理費を差し引いた金額は、営業利益と呼ばれる。

【問8】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

貸借対照表は、ある一定時点における企業の財政状態を表示したものである。

【問9】 ① (ア) 正 (イ) 正

【問10】 ④ (ア) 誤 (イ) 誤

手元流動性＝現金及び預金＋有価証券（投資有価証券は含まれない）
手元流動性がマイナスになることはない。

【問11】 ① (ア) 正 (イ) 正

【問12】 ① (ア) 正 (イ) 正

【問13】 ② (ア) 正 (イ) 誤

貸倒引当金は、貸借対照表の資産の部において、受取手形や売掛金等から控除する形式で表示する。



【問1】 ② (ア) 会社法 (イ) 株主・債権者

【問2】 ② 2つ

イとウが正しい。

【問3】 ① アイウ

社債利息 営業外費用
法人税等調整額 法人税、住民税及び事業税の調整項目
固定資産売却損 特別損失

【問4】 ① (ア) 前渡金 (イ) 流動資産

【問5】 ④ D社

【問6】 ⑤ イエオ

【問7】 ③ (ア) 実数分析 (イ) 改善

【問8】 ③ 1,200

【問9】 ④ 1,253

販売費及び一般管理費	減価償却費 30、退職給付費用 15
営業利益	1,200
営業外収益	有価証券売却益 12、受取配当金 38
営業外費用	支払利息 13、有価証券評価損 5
経常利益	1,232
特別利益	固定資産売却益 16、投資有価証券売却益 22
特別損失	減損損失 17
税引前当期純利益	1,253

【問10】 ③ (ア) 事業用資産 (イ) 客観的で信頼性が高い

【問11】 ⑤ △96

貸付けによる支出	△10
有価証券の売却による収入	39
有形固定資産の取得による支出	<u>△125</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96

【問12】 ③ 3つ

車両運搬具、土地、建設仮勘定	・・・	有形固定資産
ソフトウェア	・・・	無形固定資産
長期貸付金	・・・	投資その他の資産

【問1】 ③ (ア) 48.1 (イ) 改善

$$\text{【A社×1年度】売上高売上原価率 } 54.8\% \doteq \frac{\text{売上原価}77,299}{\text{売上高}140,950} \times 100$$

$$\text{【A社×2年度】売上高売上原価率 } 48.1\% \doteq \frac{\text{売上原価}56,914}{\text{売上高}118,396} \times 100$$

【問2】 ② (ア) 55.8 (イ) 悪化

$$\text{【B社×1年度】売上高売上総利益率 } 59.2\% \doteq \frac{\text{売上総利益}70,187}{\text{売上高}118,524} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】売上高売上総利益率 } 55.8\% \doteq \frac{\text{売上総利益}80,348}{\text{売上高}144,121} \times 100$$

【問3】 ② (ア) 18.6 (イ) 悪化

$$\text{【A社×1年度】総資本営業利益率 } 21.5\% \doteq \frac{\text{営業利益}42,948}{\text{負債純資産合計}200,095} \times 100$$

$$\text{【A社×2年度】総資本営業利益率 } 18.6\% \doteq \frac{\text{営業利益}38,513}{\text{負債純資産合計}207,109} \times 100$$

【問4】 ④ (ア) 悪化 (イ) 生産性

$$\text{【A社×1年度】従業員1人当たり売上高 } 19.26 \doteq \frac{\text{売上高}140,950}{\text{従業員数}7,317}$$

$$\text{【A社×2年度】従業員1人当たり売上高 } 15.33 \doteq \frac{\text{売上高}118,396}{\text{従業員数}7,724}$$

【問5】 ② (ア) 146.5 (イ) 低下

$$\text{【B社×1年度】財務レバレッジ } 155.7\% \doteq \frac{\text{負債純資産合計}220,133}{\text{純資産合計}141,395} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】財務レバレッジ } 146.5\% \doteq \frac{\text{負債純資産合計}245,794}{\text{純資産合計}167,773} \times 100$$

【問6】 ① (ア) 自己資本比率 (イ) A社

$$\text{【A社×2年度】 自己資本比率 } 83.1\% \doteq \frac{\text{純資産合計}172,115}{\text{負債純資産合計}207,109} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】 自己資本比率 } 68.3\% \doteq \frac{\text{純資産合計}167,773}{\text{負債純資産合計}245,794} \times 100$$

【問7】 ② (ア) 正 (イ) 誤

【B社×1年度】 フリー・キャッシュ・フロー14,422

＝営業活動によるキャッシュ・フロー21,789＋投資活動によるキャッシュ・フロー△7,367

【B社×2年度】 フリー・キャッシュ・フロー31,258

＝営業活動によるキャッシュ・フロー36,923＋投資活動によるキャッシュ・フロー△5,665

【A社×1年度】 フリー・キャッシュ・フロー43,435

＝営業活動によるキャッシュ・フロー32,284＋投資活動によるキャッシュ・フロー11,151

【A社×2年度】 フリー・キャッシュ・フロー△5,680

＝営業活動によるキャッシュ・フロー57,383＋投資活動によるキャッシュ・フロー△63,063

【問8】 ④ (ア) 悪化 (イ) B社

$$\text{【A社×1年度】 自己資本当期純利益率 } 30.2\% \doteq \frac{\text{当期純利益}48,463}{\text{純資産合計}160,381} \times 100$$

$$\text{【A社×2年度】 自己資本当期純利益率 } 20.5\% \doteq \frac{\text{当期純利益}35,202}{\text{純資産合計}172,115} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】 自己資本当期純利益率 } 24.3\% \doteq \frac{\text{当期純利益}40,762}{\text{純資産合計}167,773} \times 100$$

【問9】 ② (ア) 正 (イ) 誤

【B社×1年度】 当座資産 116,668＝流動資産合計 157,813－商品 41,145

【B社×2年度】 当座資産 142,101＝流動資産合計 184,887－商品 42,786

$$\text{【B社×1年度】 当座比率 } 164.1\% \doteq \frac{\text{当座資産}116,668}{\text{流動負債合計}71,103} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】 当座比率 } 216.5\% \doteq \frac{\text{当座資産}142,101}{\text{流動負債合計}65,631} \times 100$$

【問 10】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

$$\text{【A社×1年度】流動資産の貸借対照表構成比率 } 84.4\% \doteq \frac{\text{流動資産合計}168,841}{\text{資産合計}200,095} \times 100$$

$$\text{【A社×2年度】流動資産の貸借対照表構成比率 } 83.0\% \doteq \frac{\text{流動資産合計}171,995}{\text{資産合計}207,109} \times 100$$

$$\text{【B社×1年度】固定負債の貸借対照表構成比率 } 3.5\% \doteq \frac{\text{固定負債合計}7,635}{\text{負債純資産合計}220,133} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】固定負債の貸借対照表構成比率 } 5.0\% \doteq \frac{\text{固定負債合計}12,390}{\text{負債純資産合計}245,794} \times 100$$

【問 11】 ① (ア) 上昇 (イ) 売上高当期純利益率と総資本回転率

【B社×1年度】

自己資本当期純利益率 23.5% \doteq 売上高当期純利益率 28.1% \times 総資本回転率 0.54 回 \times 財務レバレッジ 155.7%

$$\frac{\text{当期純利益}33,246}{\text{純資産合計}141,395} = \frac{\text{当期純利益}33,246}{\text{売上高}118,524} \times \frac{\text{売上高}118,524}{\text{負債純資産合計}220,133} \times \frac{\text{負債純資産合計}220,133}{\text{純資産合計}141,395}$$

【B社×2年度】

自己資本当期純利益率 24.3% \doteq 売上高当期純利益率 28.3% \times 総資本回転率 0.59 回 \times 財務レバレッジ 146.5%

$$\frac{\text{当期純利益}40,762}{\text{純資産合計}167,773} = \frac{\text{当期純利益}40,762}{\text{売上高}144,121} \times \frac{\text{売上高}144,121}{\text{負債純資産合計}245,794} \times \frac{\text{負債純資産合計}245,794}{\text{純資産合計}167,773}$$

【問 12】 ④ (ア) 19.4 (イ) 悪化

$$\text{【A社×1年度】売上高販売費及び一般管理費率 } 14.7\% \doteq \frac{\text{販売費及び一般管理費}20,702}{\text{売上高}140,950} \times 100$$

$$\text{【A社×2年度】売上高販売費及び一般管理費率 } 19.4\% \doteq \frac{\text{販売費及び一般管理費}22,969}{\text{売上高}118,396} \times 100$$

【問 13】 ① (ア) 42.0 (イ) 優れて

$$\text{【A社×2年度】売上高経常利益率 } 42.0\% \doteq \frac{\text{経常利益}49,728}{\text{売上高}118,396} \times 100$$

$$\text{【B社×2年度】売上高経常利益率 } 38.3\% \doteq \frac{\text{経常利益}55,213}{\text{売上高}144,121} \times 100$$

【問 14】 ② (ア) △27.4 (イ) 減収減益

【A社×2年度】当期純利益の伸び率△27.4%

$$\doteq \frac{x 2 \text{ 年度の当期純利益 } 35,202 - x 1 \text{ 年度の当期純利益 } 48,463}{x 1 \text{ 年度の当期純利益 } 48,463} \times 100$$

【問 15】 ③ (ア) 506.0 (イ) 改善

$$\text{【A社×1年度】流動比率 } 435.6\% \doteq \frac{\text{流動資産合計 } 168,841}{\text{流動負債合計 } 38,758} \times 100$$

$$\text{【A社×2年度】流動比率 } 506.0\% \doteq \frac{\text{流動資産合計 } 171,995}{\text{流動負債合計 } 33,990} \times 100$$

【問 16】 ② (ア) 正 (イ) 誤

【A社×1年度】正味運転資本 130,083 = 流動資産合計 168,841 - 流動負債合計 38,758

【A社×2年度】正味運転資本 138,005 = 流動資産合計 171,995 - 流動負債合計 33,990

【B社×2年度】正味運転資本 119,256 = 流動資産合計 184,887 - 流動負債合計 65,631

【問 17】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

【A社×1年度】手元流動性 129,698 = 現金及び預金 85,103 + 有価証券 44,595

【A社×2年度】手元流動性 144,809 = 現金及び預金 93,211 + 有価証券 51,598

【B社×1年度】手元流動性 85,610 = 現金及び預金 85,610

【B社×2年度】手元流動性 109,860 = 現金及び預金 109,860

【問 18】 ③ (ア) 55,600 (イ) △195

【B社×1年度】仕入債務 3,411 = 電子記録債務 2,172 + 買掛金 1,239

【B社×2年度】仕入債務 3,216 = 電子記録債務 1,730 + 買掛金 1,486

【B社×2年度】仕入債務の増減額△195 = x 2年度の仕入債務 3,216 - x 1年度の仕入債務 3,411

【問 19】 ① (ア) 売上高営業利益率 (イ) 37.6

$$\text{【B社×2年度】売上高営業利益率 } 37.6\% \doteq \frac{\text{営業利益 } 54,260}{\text{売上高 } 144,121} \times 100$$

【問 20】 ③ (ア) 誤 (イ) 正

$$\text{【A社 x 1年度】 1株当たり当期純利益 } 375.68 \div \frac{\text{当期純利益}48,463}{\text{発行済株式数}129}$$

$$\text{【A社 x 2年度】 1株当たり当期純利益 } 270.78 \div \frac{\text{当期純利益}35,202}{\text{発行済株式数}130}$$

$$\text{【B社 x 1年度】 1株当たり純資産 } 657.65 \div \frac{\text{純資産合計}141,395}{\text{発行済株式数}215}$$

$$\text{【B社 x 2年度】 1株当たり純資産 } 776.73 \div \frac{\text{純資産合計}167,773}{\text{発行済株式数}216}$$

【問 21】 ① (ア) 3.60 (イ) 高い

$$\text{【A社 x 2年度】 株価純資産倍率 } 2.34 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}3,096}{\text{純資産合計}172,115 \div \text{発行済株式数}130}$$

$$\text{【B社 x 2年度】 株価純資産倍率 } 3.60 \text{ 倍} \div \frac{\text{株価}2,795}{\text{純資産合計}167,773 \div \text{発行済株式数}216}$$

【問 22】 ① (ア) 正 (イ) 正

$$\text{【A社 x 2年度】 時価総額 } 402,480 = \text{株価 } 3,096 \times \text{発行済株式数 } 130$$

$$\text{【B社 x 2年度】 時価総額 } 603,720 = \text{株価 } 2,795 \times \text{発行済株式数 } 216$$

【問 23】 ③ (ア) 22.5 (イ) 改善

$$\text{【B社 x 1年度】 総資本経常利益率 } 21.5\% \div \frac{\text{経常利益}47,306}{\text{負債純資産合計}220,133} \times 100$$

$$\text{【B社 x 2年度】 総資本経常利益率 } 22.5\% \div \frac{\text{経常利益}55,213}{\text{負債純資産合計}245,794} \times 100$$

【問 24】 ② (ア) 正 (イ) 誤

$$\text{【A社 x 1年度】 総資本回転率 } 0.70 \text{ 回} \div \frac{\text{売上高}140,950}{\text{負債純資産合計}200,095}$$

$$\text{【A社 x 2年度】 総資本回転率 } 0.57 \text{ 回} \div \frac{\text{売上高}118,396}{\text{負債純資産合計}207,109}$$

$$\text{【B社 x 1年度】 総資本回転率 } 0.54 \text{ 回} \div \frac{\text{売上高}118,524}{\text{負債純資産合計}220,133}$$

【問 25】 ① (ア) 11.43 (イ) 高く

$$\text{【A社 x 1年度】 株価収益率 8.33 倍} \div \frac{\text{株価}3,131}{\text{当期純利益}48,463 \div \text{発行済株式数}129}$$

$$\text{【A社 x 2年度】 株価収益率 11.43 倍} \div \frac{\text{株価}3,096}{\text{当期純利益}35,202 \div \text{発行済株式数}130}$$